



秋田県認知症疾患医療センター

当院は秋田県より指定を受け、平成30年3月1日より菅原病院 秋田県認知症疾患医療センターを開設しました。

当事業は地域の保健・医療・介護機関などと連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談、研修会の開催等、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的としています。

当院ではCT装置による検査が可能であり、認知症の判断材料として有効です。



精神科訪問看護

病院を退院された方、あるいは外来通院されている方々が、安心して治療を継続しながら自宅での快適な生活を送ることが出来るように看護師・精神保健福祉士などが、主治医の指示により、利用者様やご家族の了解を得てご自宅に伺います。

利用者様にあった日常生活の相談・援助・指導を行います。地域社会の中で、より安定した日常生活が送れるようお手伝いをしています。

精神科デイ・ケア

精神科デイ・ケアとは、精神科病院で行われている外来治療のひとつです。文化活動やスポーツ、趣味的活動など様々なプログラムを通して自主性や協調性を養い、日常生活の習慣を身につけることを目的としています。自分なりの自立を考えている方々が、「つくる」「学ぶ」「体を動かす」「楽しむ」など様々な活動を通じ、一人ひとりの成長と目標達成（仲間づくり、悩みの解決、健康維持、生きがいを見つける、交流など）を目指しています。

利用対象

当院の精神科外来治療を受けている方がご利用できます。
・日常の生活のリズムを規則正しくしたい
・家庭や地域の生活で感じるつらさを和らげたい
・人付き合いは苦手だけど、居場所や仲間がいる安心感が欲しい
・家にこもりがちになることを防ぎたい
・仕事に就くための準備がしたい
・再発予防のために利用したい



利用時間

月曜日～金曜日週5日（祝祭日を除く）
午前9時30分から午後3時30分
プログラム実施時間
午前10:00～11:30 午後1:30～3:00
プログラムの内容によって開始時間が異なる場合があります。

沿革

昭和39年10月	精神科・神経科 菅原病院開設 50床 院長 菅原 和夫
昭和40年 9月	増築増床 100床
昭和42年 9月	// 158床
昭和45年12月	// 202床
昭和58年 9月	医療法人 莊和会 設立（内科・神経科・精神科）200床 理事長 菅原 和夫
昭和60年 4月	病棟新築（鉄筋コンクリート造二階建病棟）258床
昭和62年 4月	リハビリテーションセンター新設 精神科デイ・ケア試行
昭和63年 6月	精神科デイ・ケア認可 精神科デイ・ケア（デイ）第1号
平成 2年 4月	記念病棟新築（鉄筋コンクリート造二階建病棟）
平成 2年 6月	作業療法棟新設6室
平成 4年10月	精神科作業療法認可（精）第3号
平成17年 7月	医療法人莊和会 会長・菅原病院名誉院長 菅原 和夫 医療法人莊和会 理事長 菅原 和弘 菅原病院 院長 菅原 和彦
平成18年 9月	定床 252床に変更
平成24年 1月	病院新築（鉄筋コンクリート造二階建）
平成25年 3月	特定医療法人化 承認
平成25年 7月	定床 240床に変更
平成29年 4月	定床 228床に変更
平成30年 3月	菅原病院 秋田県認知症疾患医療センター開設
平成30年 6月	定床 215床に変更
令和元年 7月	定床 207床に変更
令和元年 12月	定床 205床に変更
令和 2年 8月	定床 200床に変更



◆シンボルマークについて◆
莊和会そして菅原の二つが向き合い、各々の頭文字「S」をイメージしています。
また、緑はどんな風にも立ち向かう森林を、青は由利本荘の荒波をイメージしており、その広い日本海を森林に真っ直ぐ伸びる白い3本のラインは莊和会設立当初の菅原病院精神3ヶ条を表し、現在の基本方針に繋がっています。

病院へのアクセス



外来診療

診療時間／午前9時～12時

受付時間／午前7時30分～11時

第2・4・5土曜日・日曜・祝日・年末年始
要予約 地域移行推進室(0184-22-1628)へ
午前9時～午後8時 ※各病棟の玄関へ

休診日
新患受付
面会時間

SUGAWARA HOSPITAL



菅原病院

理念
笑顔のためにこれからも
地域と共に歩む
精神医療を目指します

